

「原子力・生物学と物理」の座長 柴田徳思 の感想

講演は以下の3題

「原子力発電所信頼性向上に向けての取組み～40年間の体験から」

エネルギー問題を考える会代表幹事・元三菱重工業常務取締役エネルギー問題を考える
会代表幹事・元三菱重工業常務取締役 金氏 顯

「日本の原子力開発史とシビアアクシデント問題」

核・エネルギー問題情報センター事務局長 館野 淳

「日本原子力学会における取組み：経過と今後」

東京大学大学院工学研究科原子力国際専攻・現原子力学会長 田中 知

金氏氏の講演は、日本の原子力発電所におけるトラブルとその改善について現場における技術者の体験を交えたお話で、このような技術者が現場を管理していたら信頼ができるのに、と感じた。最近の大型加速器機器の製作の話を知ると、最近の現場の技術力が下がっているとよく聞かされるので、事故の原因が現場の技術力低下にもあるのかなと感じている。

館野氏の講演は原子力開発史の中でシビアアクシデントがどのように扱われてきたかについてのお話で、シビアアクシデント問題を抱える軽水炉技術は基本的に欠陥技術といえとし、できるだけ早く止めるべきとしながら、廃棄物問題等将来にわたり原子力技術の必要性を指摘した。シビアアクシデント対策を本気で考えていたら今回の事故も防げたと感じる。

田中氏の講演は今回の事故に対する原子力学会の取組みについての講演で、学会として事故調査を進めるとのことである。原子力学会は JCO 事故の時に技術的に詳細な報告書をまとめている。これまでの事故調査では、原子炉技術者による事故の技術的分析が弱いと感じているので大いに期待したい。